

●どんな好みの チューンにも合わせられる！

Dai ま、これまでいろんな苦労をして、ターボチューンのノウハウをきわめてきたわけですが、今ではほぼ完成の域に達しているんですけど。つまり、絶対に壊れないとかどんなターボチューンでもできる、とか。

山本 告と違つて、パワー出してもはとんど失敗しないようになりましたね。うちのターボチューンは500馬力近い最高速仕様でも

ストリートで乗れる、オールマイティ度を目指してやつてきましたから。ただお客様の注文というか好みがぜいたくになりましたね。

雨宮 うちはずつとロータリーばかり、ターボチューンといつてもだいたいわかつてきただ。ただ、昔からそうだけど、あまりフル

チューンは勧めないね。ロータリーはエン



ジンの強化バージョンなんかが少ないから、壊さないことを一番優先させてるし。
牧原 ポクとは扱い車種が多いんで、エンジン別にデータを揃えている。このエンジンでこんなチューンだったら、このタービンとあのパーツをこうセツトして、ブーストがこれくらいならこうセツティングする……とか。そういう意味でボクシユのシャシー・ダイナモが出てきたり、データ取りがしやすくなつたわ。

Dai あ、そうか、シャシー・ダイナモね。昔はパワー・チュック・オンリーだったが、あれの正式な使い方はやはりセツティングなんですね。

雨宮 タイヤ屋さんなんかが入れたけど、あれ、最近じやホントに埋もれちゃつてみたいたね(笑)

Dai そのお客様の注文なんですが、やはり下から上までスムーズに使って、しかもパワーもあって、というような。

山本 ま、一応はどんな好みのターボチューンにも合わせられる自信はあります。ただ、新しいエンジンが出た時はちょっと恐い。だからそれをチューンする前は徹底的にシャシーダイナモでチュックするわけです。

牧原 理想的なターボチューンといえば、やはり下から上まで、ゼロヨンの加速みたいにノビるのがいい。そのためには、電子バーチャルもチューニング・レベルによって燃圧からタイミングまですべてコントロールできるやつができるは最高やね。そうすれば、もうとお客様のニーズにあったチューンができるようになる。

Dai ということです今は締めましょう。